

製本のススメ

Vol. 55

今年は燦燦とした太陽にあまり巡り合わず、夏は過ぎて行くのでしょうか？お日様が頼りの農作物には影響が出てきそうで、台所事情も厳しくなりますね。やはり温暖化のせい？財布の中身は氷河期に突入です。

今回は刷り本トラブルのお話

製本は殆どの場合 最終工程です。そのために失敗している時間がありません。しかしミスを誘発させられる刷り本が毎日のようにやってきます。むろん故意で無い事は判りますが、いっこうに減らないのが現状です。そこで今回は、当社や近隣の製本会社へ持ち込まれる刷り本の多いトラブルを書き出してみました。

*クワエ・針側の表示が付いていない

*針飛びが頻繁に起こっているのに気づいていない

*伝票等に記載された枚数と、実際の枚数が違う

*ドブの広さが違う折台が入っている

*表紙と本文のドブが合っていない

*インクが乾いていない

*スプレーパウダーが異常に多い

*不良品が混入している

*頁等の表示がなく、折り・丁合い順が判らない

*中綴じのラップが取れない

書き出すとキリがありませんが、代表的な 10 項目を挙げてみました。何か思い当たる項目がありませんか？全てに短納期を迫られる中で、印刷の現場でも苦心されることがあると思いますが、これらは製本加工を進める上で、極めて大きなトラブルに直結する事柄なので、私達は加工に入る前に、毎回刷り本のチェックをしているほどです。製品の品質向上が、エンドユーザーへ何よりのサービス！ぜひ、安定した刷り本づくりに役立ててください。



Tea break

経済は刻々と変化していますが、実は川の長さも変化しているようです。世界一長い川はミシシッピ川と思っていたら、今はナイル川だそうで次はアマゾン川です。これは新しい水源が見つかった為で、今後も変更は有り得ますね。でも国内では 1 位信濃川・2 位利根川・3 位は石狩川ですよ♪

by (株) 井関製本